

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



輝いて生きよう!

(7月5日 総合文化会館)

「健寿の里たかはし」の健康づくり推進委員会(高梁保健所、高梁市、愛育委員、栄養委員らで組織)の主催で、「健寿フォーラム2007inたかはし」が行われました。

講演に先立ち行われた「長寿トーク」では、市内の高齢者4人が長寿の秘訣を紹介。その後、聖路加国際病院(東京)の日野原重明理事長(95歳)が「輝いて生きる」と題し講演を行い、来場者約1000人が熱心に聞き入っていました。

邦楽の調べ

(6月17日 総合文化会館)

「三曲演奏会」が行われ、市内の箏・三絃・尺八の愛好家約80人が出演し「八千代獅子編曲」「春の夜」「花鳥風月」など11曲を演奏。

訪れた約350人は、邦楽の優雅な調べや華麗な舞を堪能しました。

この演奏会は、名誉市民で人間国宝の米川文子さん(1894~1995)をしのんで毎年開かれ今年で19回目。



市所蔵の絵画・版画の傷みを調査

(7月6日 市役所)

文化財の修復を専攻する吉備国際大学社会学部文化財修復国際協力学科の3、4年生47人が、博物館実習の授業として、市役所の応接室や会議室に飾ってある市所蔵の絵画や版画(地元出身の画家・川月泉鑑さんや畑勇隆さんの作品)などの傷み具合などを調査しました。

参加した学生たちは、小西伸彦准教授の指導を受けながら、絵の具のひび割れや剥離^{はくり}などを入念にチェックしていました。



そばの花に囲まれて

(6月17日 松原町松岡)

県内で珍しい春まきソバが栽培されている松原町で「春播きそばの花見会」(松原そばの会主催)が行われました。

訪れた家族連れらは、約80㍻に白くかれんに咲く花々を鑑賞しながら、写真を撮ったり花の香りを堪能。

また、そば打ちの実演やそばの試食などもあり、山里の自然を満喫していました。

ホタルについて学ぶ

(6月16日 やすらぎの里センターハウスほか)

「ながたにホタルの集い」(同実行委員会主催)が開かれ、多くの家族連れらがホタルの光のショーを楽しみました。

鑑賞に先立ち「私たちのくらしと清流の保全」(講師: 県職員)と「ホタルの一生」(講師: 高梁地域ホタルの里づくり推進委員会 神尾敏夫さん)と題した講演も行われました。

また、会場周辺には地元住民によるうどんや焼きそばなどの出店が並び、同実行委員会考案のオリジナル弁当「ホタル弁当」も人気を集めていました。



100歳おめでとうございます

100歳(明治40年生まれ)の誕生日を迎えられた2人を市長らが訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。市内で100歳以上の人は7月6日現在で27人(男性5人、女性22人)



○瀬戸川弥與乃さん(備中町平川)

7月2日生まれ。長寿の秘訣は「早起きをして体を動かしてきたこと、旅行好きであったこと」

<7月2日 特別養護老人ホームグリーンヒル順正にて>

○大河美恵さん(成羽町吹屋)

6月11日生まれ。長寿の秘訣は「おおらかな気持ちで過ごしてきたこと」

<6月11日 高梁中央病院にて>



今月の 表紙

楽しさいっぱい ~わくわく子どもフェスタ21~

6月30日、歩行者天国となった柴町商店街で「わくわく子どもフェスタ21」が行われ、大勢の家族連れでにぎわいました。

特設ステージでは、子どもたちがエアロビクスやダンスなど日ごろの練習の成果を披露。また、バルーンアートやビーズアクセサリー、木工などの手づくり遊びのコーナーもあり、来場者らは楽しい一日を過ごしていました。

市内の13団体でつくる実行委員会が主催しており、今年で7回目。